

2017年6月20日

AGC 旭硝子、フィリピン建築用ガラス子会社の全株式を売却

AGC 旭硝子（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、2017年12月末までにAGCフラットガラス・フィリピン社（以下 AGPH）の株式における当社持ち分（100%）すべてを TQMP Glass Manufacturing Corp.社（本社：フィリピン、社長：Paul Vincent C, Go）へ売却することを決定しました。なお本件はフィリピン独禁法当局の承認を前提としており、連結業績への影響は軽微です。

当社は、1988年にフィリピンで建築用ガラス事業を行っていた現地法人に持ち分比率49%で資本参加しました。その後出資比率を100%に引き上げ、現地法人の社名をAGPHに変更し、同社はAGCグループの建築用ガラス事業のグローバル戦略の一環として重要な役割を果たしてきました。しかし、フィリピン国内の販売競争が激化したため、ここ数年業績が悪化していました。

当社は中期経営計画“AGC-plus 2017”で定めた方針に基づき、建築用ガラス事業で選択と集中を行い、高付加価値品への転換を進めています。その一環として今回AGPHの株式すべて売却することを決定しました。

今回の株式売却によってAGCグループはフィリピン国内の建築用ガラス製造からは撤退しますが、今後は他拠点で生産した遮熱性能を高めるガラスやミラーなどの高機能加工製品の販売を強化していきます。

以上

<ご参考>

AGCフラットガラス・フィリピン社（AGPH）の概要

- 本社及び工場所在地 フィリピン パシグ市
- 代表 小藤田 洋成
- 資本金 53.3億フィリピンペソ
- 株主 AGC 旭硝子 100%
- 売上高 23.1億ペソ（2016年12月期）
- 事業内容 建築用ガラスの製造、販売
- 設立年 1988年
- 従業員数 465名（17年4月末 内訳：社員219名、協力業者246名）

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子 経営企画部 広報・IR 室長 玉城 和美

（担当：宮川 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com）